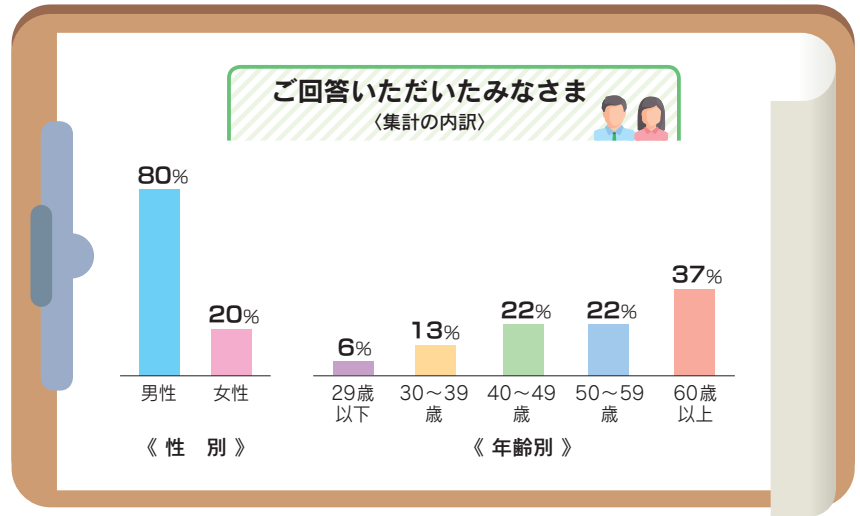


2017  
年度

# アンケートの結果報告です



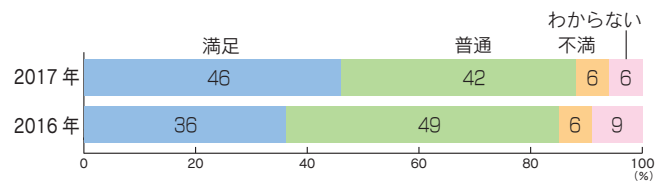
IBM 健保組合では、加入者のみなさまにご提供する各種プログラム等の保健事業について、今後の事業展開に活かしていくためのご意見・ご要望を広くお聞きするため、毎年「IBM 健保組合アンケート」調査を実施しています。今年度も被保険者のみなさまのなかから 6,000 名の方を無作為に選んで調査を実施、ご回答いただいた方々の集計結果をご報告します。ご協力いただき、ありがとうございました。



## IBM 健保組合の事業全体の満足度は？

IBM 健保組合の事業全体に対する満足度は、2016 年度より上昇しています。厳しい財政状況の中、今後も疾病予防プログラムを中心に限られた予算を有効活用し、効果的な健康づくり事業に取り組んでいきます。

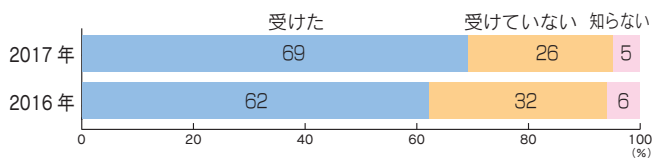
● IBM 健保事業全体について、どの程度満足していますか。



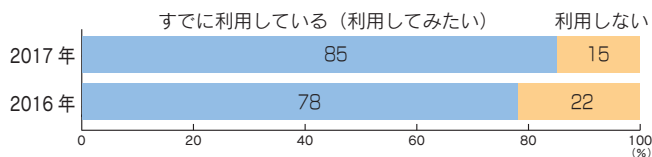
## 疾病予防プログラムについて

被扶養者で健診未受診の方は 26% となり、昨年度より減少しました。引き続き、多くの方が受診されるよう努めてまいります。インフルエンザ予防接種補助金は 2018 年度も継続して実施します。

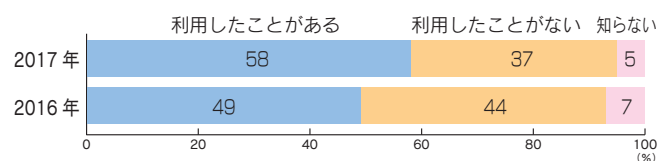
● 被扶養者は健診を受けましたか？



● インフルエンザ予防接種を利用しますか？



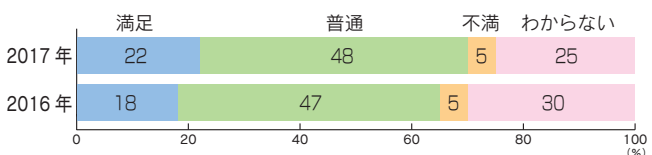
● 補助金対象となるオプション検診プログラム(乳がん・子宮がん・胃がん検診、人間ドック等)を利用したことがありますか？



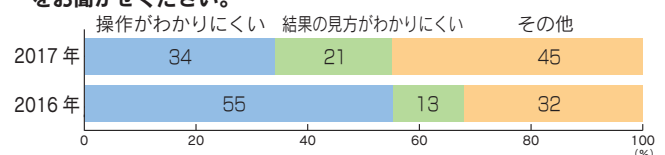
## SSP (すこやかサポート Plus) について

SSP に対する満足度は改善傾向にあります。昨年来、家族・社員健診予約システムとの統合を行い、1つのIDでログイン可能となり、利便性が向上いたしました。ぜひ、健康管理・生活習慣の改善にお役立てください。

● SSPを利用されたご感想はいかがでしょう。



● SSPを利用されたご感想で「不満」と回答された方は、その理由をお聞かせください。

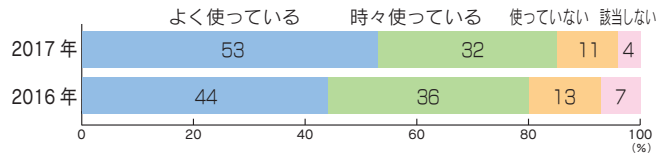


## ジェネリック医薬品（後発医薬品）について

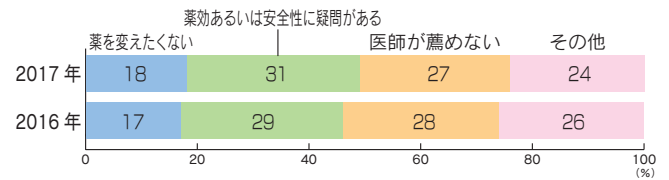
調剤レセプト\*からみる IBM 健保組合全体のジェネリック医薬品の使用率は6割を超えていますが、アンケート結果をみると、まだまだ薬効や安全性の面で不安のある方が多いようです。IBM 健保組合では、今後もジェネリック医薬品に関する情報発信を行い、利用率の向上に努めていきます。

\*調剤レセプト：調剤薬局から調剤料等の請求のため健保組合に送られる「調剤報酬明細書」。

### ●ジェネリック医薬品をご利用になったことがありますか？



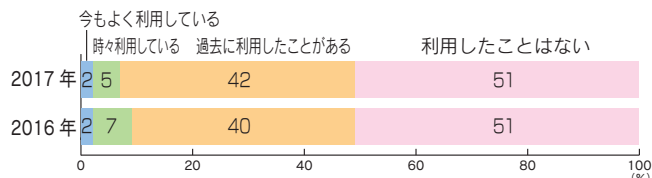
### ●ジェネリック医薬品を「使っていない」と回答された方は、その理由をお聞かせください。



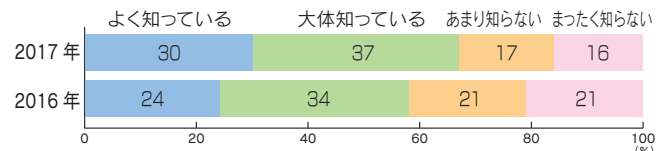
## 整骨院・接骨院（柔道整復師）について

整骨院・接骨院を利用したことがある方はほぼ半数で、昨年度と変わりません。一方、健康保険が適用される傷病についての認知度は昨年度より増加しています。今後もホームページ、広報誌等で情報発信に努め、正しいかかり方についてお知らせしてまいります。

### ●整骨院・接骨院（柔道整復師）を利用したことはありますか？



### ●整骨院・接骨院で健康保険が適用できる傷病は限られていますが、ご存じですか？

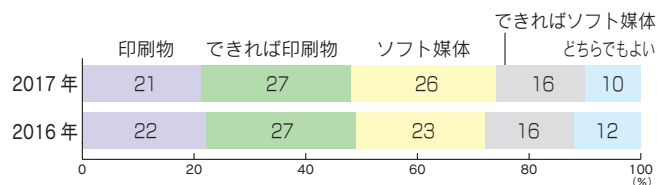


## 情報のご案内方法について

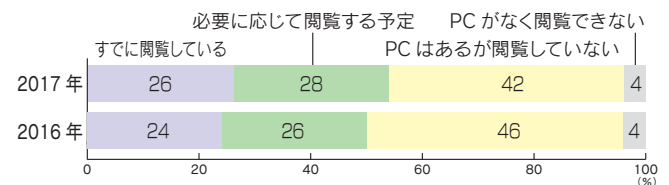
IBM 健保組合の毎年度の予算や決算、各種事業などについては必ずみなさまにお知らせしなければなりません。引き続きホームページ・印刷物（広報誌等）を通して情報提供をさせていただきますが、みなさまの利便性を考慮しながら ICT\*化に努めてまいります。

\* ICT：Information and Communication Technology の略で「情報通信技術」と訳され、コンピューター技術の活用を意味する。

### ●印刷物による開示と Web 等を利用したソフト媒体による開示、どちらを希望しますか？



### ●ご家族の健保ホームページを閲覧することができるパソコン（タブレット、スマートフォンを含む）環境についてお聞かせください。

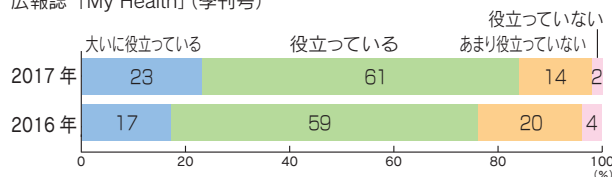


## 各種印刷物・健保ホームページについて

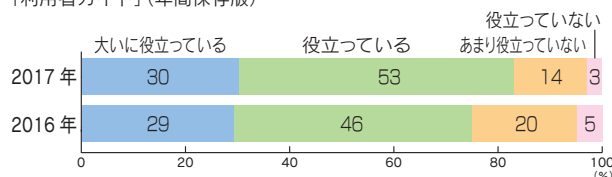
季刊広報誌「My Health」、年1回発行の「利用者ガイド」とも多くのみなさまにご活用いただいているようです。これらは IBM 健保組合からみなさまに各種情報提供を行う手段として欠かせない媒体です。ホームページや SSP とあわせて引き続き、みなさまの健康に役立つタイムリーな情報を提供していきます。

### ●各種印刷物は役に立っていますか？

広報誌「My Health」（季刊号）



「利用者ガイド」（年間保存版）



事業の柱となる項目について、アンケートの集計結果をご報告させていただきました。来年度の保健事業プログラムの運営に活かしてまいります。